

## 令和元年度地域政策推進事業(地域創生推進事業) 事業一覧

(単位:千円)

番号	新規・継続	事業名	事業期間(年度)	事業概要	事業費
1	継続	空知産業遺産活用促進事業	27 ~ 31	平成20年度に策定した「元気そらち！産炭地域活性化戦略」に基づき、炭鉱遺産群を活用した観光・まちづくりを図る。	2,553
2	継続	集落コミュニティ再生事業	29 ~ 31	農村集落の維持・活性化に向け、集落づくりを主体的に行おうとする住民の誇りと意欲を醸成し、集落のコミュニティの強化と交流等の取組を促進する。	565
3	継続	空知型観光まちづくり推進事業	29 ~ 32	国内外に管内の魅力をPRし、空知地域の知名度向上を図るほか、サイクルツーリズムなど、魅力ある観光地づくりを進め、管内への誘客を促進する。また、住民が地域に誇りを持ち、これからも住み続けやすいまちづくりの推進を図る。	5,409
4	継続	空知地域人材確保・定着推進事業	30 ~ 32	空知の経済活力を維持し活性化を図っていくため、人材が不足している製造業等の分野において、新規学卒者など若者を中心とした人材の確保・定着を推進する。	1,008
5	継続	空知地域食品ブランド化・ワイン産地づくり強化事業	30 ~ 32	空知地域の食のブランド化や空知産ワインの産地基盤づくりを推進するため、地場産品を活用した新たな商品開発による高付加価値化やワイン生産者への支援を行うとともに、道内外へのプロモーション等により販路拡大を図る。	2,337
6	新規	空知農業ベストパフォーマンス発揮推進事業	31 ~ 33	地域に根ざした一次産業である「農業」がベストパフォーマンスを発揮することで、空知地域全体の活性化に寄与するため、ICT農業の推進、将来の農業・食関連産業を支える人材の育成等を図る。	2,528
空知総合振興局				6	14,400
1	継続	いしかり元気な農村ビルドアップ事業	27 ~ 31	ドローン等先進的な省力化農業技術の普及を図り、大規模農家の経営安定化、農業者の定住や農業後継者の確保を目指すとともに、都市住民へ農業・農村の魅力等発信や農工商連携・6次産業化を支援し、都市と農村の交流推進、農村地域の活性化を図る。	867
2	継続	「ようこそいしかり」誘客促進事業	27 ~ 31	新千歳空港からのアクセスの良さや、都市と自然との共存、豊富な食・観光資源など、石狩が持つ地域特性を活かして国内外に管内の魅力をPRし、誘客促進とともにLCC就航や新幹線開業効果を活かした国内外の交流人口拡大を図る。	4,180
3	継続	シェフを活用した石狩ブランドづくり事業	28 ~ 31	地域のこだわりの生産物を「石狩ブランド」に導くため、具体的な生産物(食材・加工品)を求める食・調理の専門家であるシェフ(料理人)を対象とした生産者との交流を推進する。	700
4	継続	カムバック&ウェルカム・いしかり事業(若者定着プロジェクト)	29 ~ 31	石狩管内の大学生との連携による地域活動や移住・定住の促進の取組により、若者の地元定着や人材還流を促進し、人口の社会減を緩和する。	1,692
5	継続	石狩地域エゾシカ対策事業	29 ~ 32	札幌市などの人口密集地における安全かつ有効なエゾシカ捕獲方法の検討を行い、市町村駆除等による捕獲数の増加を図る。	1,331

番号	新規・継続	事業名	事業期間(年度)	事業概要	事業費
6	継続	地域特性を活かした総合的な少子化対策推進事業	30～31	管内の出生率向上に向け、若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境づくりなど少子化対策の取組を推進する。	500
7	新規	災害対応型・食の拠点づくり事業	31～31	農業者が出荷者である農産物直売所は、災害の発生によりライフラインや物流が停止した際も食料供給拠点の期待ができ、既存の農産物直売所を活用し、被災者サポートが可能となる災害対応型・食の拠点づくりに向けた機能・体制整備を進める。	100
8	新規	地域防災力！ステップアップ！！サポート事業	31～32	管内全域で停電が発生するなどした平成30年北海道胆振東部地震をきっかけに地域住民の防災意識は向上しており、その個人意識を地域の取組へとつなげるため、各種啓発等を通じて、地域防災力の向上を図る。	380
9	新規	「人」と「技」を次世代につなぐ石狩農業プロジェクト事業	31～33	石狩農業の将来を見据え、今後急増が見込まれる離農農家の資産(農地や機械等)・技術を、石狩に多い新規参入者(非農家出身の新規就農者)など第三者に円滑に継承し、継承後のフォローまで一体的に行ない、次世代の石狩農業を担う人材確保・定着を図る。	1,350
石狩振興局				9	11,100
1	継続	家と人の循環によるまちづくり	27～31	「しりべし空き家BANK」の活用と機能を拡大し、新規居住者へ住宅供給を増やすとともに、行政と民間が取組を展開することにより景観資源を活かしたまちづくりを行う。	835
2	継続	ShiriBeshi農林水産業確立プロジェクト	27～31	地域を支え発展させる力強い農林水産業を確立するため、後志が誇る農林水産物の高付加価値化、ブランド化、利活用拡大を図る。	1,980
3	継続	ShiriBeshi世界へのゲートウェイ化事業	27～31	道外への販路拡大を目的とした物産展及び食関連事業者と飲食店による商談会等を開催。外国人観光客のニーズの把握、その嗜好の情報収集を行う。	2,723
4	継続	北海道新幹線開業等”しりべし”交流拡大推進事業	27～31	北海道新幹線の全線開業を地域経済の活性化に結びつけていくために必要な産業振興策とその基盤となる駅及び駅周辺施設等の機能や二次交通のあり方を検討する組織を立上げ検討体制の構築を図る。	734
5	継続	ShiriBeshi観光のグリーンシーズン誘客事業	28～31	スポーツツーリズムや文化・教育などグリーンシーズンの多様なコンテンツを最大限活用した魅力ある観光地づくりを進めることにより観光誘客を実施する。	3,221
6	継続	道央・道南地域広域観光推進事業	28～31	道央・道南地域の広域観光を推進するため、各地域間で連携して受入体制の整備を行い、魅力ある観光情報を発信する広域的な観光プロモーションを行う。	1,032
7	継続	Shiribeshiグローバルワークプレイス推進事業	30～32	道内外や海外から多様な人材を発掘・確保し、就業・起業を促進しながら、彼らが活力を持って働く場所(グローバル・ワーク・プレイス)を構築し、働き手を確保する。	2,675
後志総合振興局				7	13,200

番号	新規・継続	事業名	事業期間(年度)	事業概要	事業費
1	継続	胆振ものづくり産業・林業活性化推進事業	27 ~ 32	胆振地域の優れた技術力を背景に開発された製品の高付加価値を図るとともに、プロモーション活動や企業立地推進、次世代の人材育成等を通じ、管内ものづくり産業の振興を図る。就業環境の改善や林業の魅力発信により、適切な森林整備の推進と森林資源の循環利用を進める林業担い手を確保する。	1,076
2	継続	いぶり・6次観光推進事業 (いぶりの「食ブランド」レベルアップ事業)	27 ~ 32	胆振管内の食の魅力向上させ、地域住民や道内・道外への情報発信を強化するため、食の磨き上げ並びに魅力発信に関する事業を実施し、交流人口の拡大や食産業の発展による就労の場の確保を図る。	3,941
3	継続	いぶり・6次観光推進事業 (「いぶり・6次観光」促進・情報発信事業)	27 ~ 32	工場夜景を始めとする産業観光のコンテンツを有している他、登別や洞爺に代表される道内有数の観光地を抱えていることから、これらを複合させ、ターゲットを定めた効果的な情報の発信を行うことにより交流人口の増加を図る。	2,692
4	継続	いぶり・6次観光推進事業 (胆振四大遺産等地域資源活用事業)	27 ~ 32	胆振四大遺産(「洞爺湖有珠山ジオパーク」・「縄文遺跡群」・「アイヌ文化」・「むかわ竜」)を核に、管内の多様な魅力を総合的に発信することで、住民の誇りの形成を通じた地域の活性化を促すとともに、胆振地域への誘客を促進し、交流人口の拡大を図る。	1,588
5	継続	いぶり・6次観光推進事業 (宮蘭航路利用促進事業)	30 ~ 32	平成30年6月の室蘭と岩手県宮古を結ぶフェリー航路の就航を契機に、胆振・岩手県沿岸の両地域で連携して利用促進に取り組み、交流人口の拡大を図る。	1,210
6	継続	いぶり・6次観光推進事業 (象徴空間・縄文遺跡群PR事業)	30 ~ 32	民族共生象徴空間(国立アイヌ民族博物館、国立民族共生公園等)の開設(2020年)をアイヌ文化の紹介などを通じて情報発信するとともに、縄文遺跡群の世界文化遺産への登録に向け、縄文ファンの拡大や縄文文化の魅力発信を行い、地域の稀有な先人遺産を活用するための機運醸成を図る。	1,593
胆振総合振興局				6	12,100
1	継続	日高地域コンブ生産安定対策事業	27 ~ 31	基幹漁業であるコンブ漁業は、厳しい漁業環境を背景に、着業者の減少と高齢化が進行し、生産量が年々減少しているため、新たな漁業生産体制の整備や漁場環境の適切な把握など、総合的な対策を進め、コンブ漁業の生産安定を図る。	241
2	継続	ひだか戦略総合情報発信事業	28 ~ 32	「ウニ」や「サクラ」をはじめ、日高管内のあらゆる地域資源を活用した魅力発信を行うとともに、地域資源の発掘・磨き上げや観光人材の育成等を行い、日高管内の知名度向上やイメージアップ、交流人口の増加を図る。	5,898
3	継続	馬産地対策・観光推進事業	28 ~ 32	多様な食や観光資源を広く道内外に紹介するとともに、全国のサラブレッドの約8割を生産する馬産地日高の特色を活かし、ホッカイドウ競馬(門別競馬場)など馬を活用した地域の魅力をPRし、日高ファンや誘客促進し交流人口拡大を図る。	1,330
4	継続	農林業被害低減のための鳥獣被害対策事業	28 ~ 32	西部地域のエゾシカ個体数の減少と農林業被害の低減を図るため、捕獲促進及び有効活用拡大を図る。ヒグマによる農業被害防止等のためデントコーン畑に侵入したヒグマの追い出し及び捕獲方法等の確立を図る。	420
5	継続	日高軽種馬産地活性化推進事業	28 ~ 32	日高が持つ「全国で唯一の馬産地」「温暖少雪な気候風土」「港・空港に近い立地」といった強みを生かし、軽種馬生産の構造改革や馬関連産業の育成、新規就農者の育成・確保に取り組み、地域の活性化を図る。	1,301

番号	新規・継続	事業名	事業期間(年度)	事業概要	事業費
6	継続	日高アイヌ文化魅力発掘事業	29 ~ 31	2020年の東京オリパラに向けアイヌ文化のPR活動が活発化する中、「日高アイヌ」としてカテゴライズした魅力の発掘・発信に取り組むことにより、アイヌ文化を軸とした地域づくりと交流人口増加を図る。	735
7	継続	日高食関連産業振興事業	30 ~ 32	多様な食資源を活かした商品開発・磨き上げを促進する取組を進め、また、多様な産品を道内外の流通業者に紹介するとともに、札幌圏での特産品の販売・PR等により、消費者に向けた認知度を向上し、地域の特産品の消費拡大を図る。	731
8	新規	建設業就業促進支援事業	31 ~ 32	日高建設協会と連携を図り、「建設業体験フェア」を開催し、建設業の仕事を知ってもらい、地元就業(建設業に就業)を促進する。	244
日高振興局				8	10,900
1	継続	「北の縄文」魅力発信・ファン拡大推進事業	27 ~ 31	世界遺産登録を見据える縄文について、地域住民の理解促進・ファン拡大等の取組強化と、旅行商品の造成を旅行会社に働きかけるとともに、縄文関連グッズの商品企画を公募し、企業との繋ぎ等の側面的支援をすることで、地域の経済効果に結びつけ、登録に向けた地元の気運醸成を図る。	1,690
2	継続	道南地域食振興ネクストステージ事業	27 ~ 31	新幹線開業を機に道南の食の魅力向上とブランド力強化を図るため、優れた産品を産出する一次・二次・三次産業の交流の機会を通じて新たな食の魅力を創造・発信するとともに、商品の磨き上げや商談会等、海外展開を含む販路拡大と食に携わる人材のレベル向上を図る。	1,985
3	継続	北海道新幹線開業による観光地域づくり推進強化事業	27 ~ 31	新幹線開業効果を地域において最大限享受するため、道南を初めて訪れた方々がリピーターとなっていただけのような広域観光の取組を強力に進めるとともに、青森県との連携による青函広域観光を推進する。	1,763
4	継続	渡島スマートアグリ構想推進事業	27 ~ 31	地域農業の主力である施設園芸及び施設園芸を中心とした複合経営等の効率化・高度化を目指し、産学官連携により、地域の実情に即した高度化スタイルを提案。段階的に整備を促し、施設園芸等における渡島農業の優位性を維持し、北海道での次世代施設園芸モデルを創造する。	1,673
5	継続	農と浜のコンパクトツーリズム促進事業	27 ~ 31	新幹線開業により増加が見込まれる教育旅行や観光客を対象とした体験観光の受入体制を整備・情報発信し、周辺農・漁村部への入込みを促進する。地域の取組を連携させ、交流人口の拡大や体験観光を推進し、地域産業の振興等による農山漁村の活性化を図る。	496
6	継続	みんなですすめる木づかいプロジェクト!	27 ~ 31	地域材を活用した、新たな利用方法の展開を検討するため、木づかいプロジェクト検討委員会及び地元大学生等と就業体験や木工体験等ワークショップ等の活動を通じて地域材の利用促進と、林業・木材産業への理解・就業促進を図る。	2,111
7	継続	渡島水産塾～担い手育成推進事業	27 ~ 31	渡島管内の新規高卒・大卒予定者等を対象に、実践的な体験学習の実施により、漁業への就業意欲を高め、新規就業者の確保及び人口減少の抑制を図る。	273
8	継続	就業・定住促進対策推進事業	27 ~ 31	農林水産業・医療介護福祉分野への就業と定住を推進するため、市町との連携を図り、就業情報や定住に必要な生活・住宅情報を一元化・発信するとともに、管内への移住・定住を促進するため、就業モニターツアーの実施や就業・定住イベントに出展する。	1,267

番号	新規・継続	事業名	事業期間(年度)	事業概要	事業費
9	継続	ブリの消費拡大推進事業	30 ~ 31	管内で水揚げされるブリの認知度を向上させ、消費拡大を進めることにより、魚価の向上を図り、漁業者の所得安定に繋げるとともに、ブリの新商品開発等により、近年、イカ原料不足で苦境にあえぐ加工業者の補完原料としての活用促進を図る。	1,242
渡島総合振興局				9	12,500
1	継続	檜山地域における新幹線観光対策事業	27 ~ 31	新幹線開業を生かし、檜山地域において観光客の流入促進及び経済波及効果を楽しむことは、振興局としての最重要課題であることから、重点的に檜山地域の食の磨き上げ、販路拡大及び観光振興の取組を推進する。	7,590
2	継続	檜山農業生産力底上げ・人づくり推進事業	27 ~ 31	既存作物の生産性向上や新たな作物及び技術の導入等により生産力の底上げを図るとともに、地域の担い手育成・支援体制の整備支援、農業と福祉との連携や就農モデルケースへの集中支援により人(農業担い手)づくりを進め、地域の経済・社会を支える檜山農業の持続的発展を図る。	890
3	継続	みんなで学棒(まなぼう)檜山の木利用促進事業	28 ~ 31	道南地域特有の造林樹種「スギ」の需要拡大を図るため、建築関係者等との検討会議や、教育機関等と連携した地材地消の取組を推進する。	450
4	継続	輝け地域おこし協力隊！交流連携プロジェクト事業	29 ~ 31	交流人口拡大のため、研修会の開催等により、地域おこし協力隊の地域力アップを図るとともに、地域おこし団体等による文化・歴史を通じた交流事業等、津軽海峡交流圏の形成を推進する。	1,190
5	継続	檜山の水産物付加価値向上対策事業	30 ~ 31	漁業者、加工流通業者、行政機関等が連携して、漁業者の更なる所得向上と地域経済の活性化を図るため、檜山管内の水産物の付加価値向上を図る。	780
檜山振興局				5	10,900
1	継続	道北地域交流人口拡大推進事業	27 ~ 31	交流人口の拡大により道北地域の地域振興を図るため、北部においては天塩川、中部においては大雪山をテーマとして地域の魅力を発信するとともに、貴重で豊かな自然環境を保全する取組も併せて実施する。	3,376
2	継続	「食」や「食文化」を観光資源とするフードツーリズム推進事業	27 ~ 31	「食」や「食文化」をテーマとした新たな旅行商品の提案や既存の旅行商品に「かみかわ食べものがたり」をベースとした「食」や「食文化」にまつわる観光素材の魅力を加え、観光の裾野を広げる取組を展開し、地域への誘客促進を図る。	2,406
3	継続	持続可能型上川農業確立推進事業	27 ~ 31	人口減少に対応し持続可能な農業を確立するため、ビニールハウスによる施設園芸へのICTを活用した省力化技術導入や、水稲や転作作物の低コスト・省力化技術の確立、収益性の高い新規作物の導入検討など、省力化・高収益化に向けた取組を推進する。	1,197
4	継続	地域森林資源利用推進プロジェクト事業	27 ~ 31	利用期を迎えた人工林資源の地域における循環利用を推進し、山村地域の活性化を図るため、林地未利用材を有効活用した木質バイオマスのエネルギー利用促進や、道産材家具利用拡大を図り、地域特性に応じた資源管理体制を構築する。	446

番号	新規・継続	事業名	事業期間(年度)	事業概要	事業費
5	継続	かみかわ地域産業担い手対策事業	27 ~ 31	今後の人口減少社会を見据え、地域全体を支える産業(農業・林業・商工業)の担い手・後継者を確保・育成するため、地域において産業別の課題に応じた取組を進めるとともに、道外に向けて上川地域の魅力をPRし、雇用の拡大を図る。	3,978
6	継続	スポーツ合宿ブランド化推進事業	27 ~ 31	東京オリンピックの開催を控え、スポーツ合宿誘致機運の高まりなどスポーツへの注目が集まっており、関係市町村・機関等と連携し、地域の実情・実態に応じた合宿の誘致のほか、スポーツ活動に取り組む人たちの裾野を広げ、地域の活性化を図る。	481
7	継続	かみかわ地域連携創出事業	27 ~ 31	市町村総合戦略の効果的な推進及び地域の持続的発展を図るため、振興局、市町村、団体・企業、農業者など、管内の多様な主体の若手が参画する「かみかわ未来会議」を開催し、広域的な人的ネットワークの構築・強化や、人材育成に向けた取組を実施する。	1,387
8	継続	「未来づくり感響プロジェクト」事業	30 ~ 32	将来の担い手確保や需要拡大を図るため、旭川家具の生産や木工加工等に携わる関係者が連携し、旭川家具の魅力や優位性等の理解を促進する学習ツールを検討・制作し、中・高校でのトライアル授業の実施を通し検証・改良し、普及を図る。 (企業版ふるさと納税活用事業)	1,000
9	新規	上川産森林認証材の利用促進	31 ~ 33	上川産森林認証材の利用促進を目的に、木材加工業者、住宅・家具メーカーなどへのCoC認証取得の促進及び一般消費者への森林認証制度の普及を図るとともに、認証森林から多くの出材が見込まれるトドマツの需要拡大を図る。	729
10	新規	おいでよ！天空の園・松山湿原の森プロジェクト	31 ~ 33	松山湿原・天竜沼の利用促進を図るとともに、利便向上を図るための散策路や案内看板等を整備する。 (企業版ふるさと納税活用事業)	1,000
上川総合振興局				10	16,000
1	継続	るもいの豊かな海と森を育む事業	27 ~ 31	留萌管内の豊かな水産資源や森林資源を持続的に有効活用するため、関係機関と行政が連携し、海と山が一体となった取組や新たな販路拡大の仕組みづくりなどを行い、地域の産業振興や雇用確保を図る。	1,059
2	継続	留萌健康産業展開促進事業	27 ~ 31	留萌地域の特性を活かした健康産業を展開し産業としての確立を促すため、地域資源の活用や地域住民等との連携により各種プロジェクトを推進する。	508
3	継続	るもい産業担い手支援モデル事業	27 ~ 31	地域における後継者・働き手確保対策、起業や新たな事業アイデアの具体化などの課題に対し、振興局としても地域と一体になって伴走支援をしていくための取組を推進する。	4,165
4	継続	るもい”農”フル活用推進事業	27 ~ 31	留萌地域では米の生産を中心に、小麦や大豆などの畑作や果樹、野菜、花き、酪農・肉牛などバラエティ豊かな農業を展開し、地域を支える基幹産業となっており、今後も引き続き留萌地域の特徴を最大限発揮するため、水田のフル活用及び硬質小麦『ルルロツソ』の産地化を推進する。	1,193
5	継続	るもい地域戦略的魅力創造発信事業	28 ~ 31	札幌圏へ食と観光のPRを進めるとともに、管内を直接目的地とするためのプロモーション活動を実施するほか、台湾を重点としたインバウンド対策を図り、観光客を誘引する取組を進める。	2,021
6	継続	天売島におけるアザラシ対策事業	29 ~ 31	北海道アザラシ管理計画に基づき、天売島・焼尻島の漁業被害を軽減するため、夏期におけるアザラシの周年定着個体の半減を行うための捕獲・追い払い手法の検討を行う。(天売島におけるアザラシの追い払いの試行)。	541

番号	新規・継続	事業名	事業期間(年度)	事業概要	事業費
7	継続	増毛山道推進事業	29 ~ 31	増毛山道の再生が平成28年10月で完了し、留萌～石狩間の山道が全線開通したことから、自然や歴史・文化等について、道民等への一層の理解と利活用の促進及び知識の普及を図るため、NPO法人増毛山道の会及び石狩振興局と連携した推進事業を実施する。	662
8	継続	るもいライフ体験促進事業	30 ~ 31	留萌管内への移住定住につなげていくためには、留萌地域の魅力を実感してもらうことが重要であることから、振興局と管内市町村が連携し、体験移住に関する取組を集約・発信していくことにより、来萌や体験移住等の促進を図る。	551
留萌振興局				8	10,700
1	継続	宗谷地域医師・看護師確保対策事業	27 ~ 31	宗谷地域で働く医師・看護師の姿や宗谷地域の医療の取組を積極的に発信し、道外在住の医療従事者に対して宗谷で働く魅力を伝え、移住定住を促進し、宗谷地域における医師・看護師を確保する。	527
2	継続	地域版漁業就業支援フェアの開催	27 ~ 31	管内日本海沿岸区域の高校・大学を対象に、漁業の魅力や就業環境などについて具体的に理解する場を提供し、地元の若年層の人材確保と定着を図る。	729
3	継続	林業新規就業促進・担い手対策事業	27 ~ 31	林業労働環境に関する情報不足を解消し、新規就業を促進するため、関係者で構成する協議会が学校訪問や林業体験で積極的に林業をPRすることにより、担い手不足の解消を図る。	324
4	継続	宗谷の「ショク×タビ」プロジェクト形成促進事業	27 ~ 31	食と観光の企業間連携や地域食材の活用を進めるため、地域の意欲的な事業者が連携する場を形成するとともに、個別相談やプロモーション、セミナー開催など地域企業等へのビジネスサポートを通じて、食と観光の一体的なプロジェクトを創出し、食・観光関連産業の底上げを図る。	2,775
5	継続	国境を越えた交流 海外との交流促進事業	27 ~ 31	若い世代が両地域の歴史や文化、経済的な結びつきを再認識し、地域レベルでの交流を深化させるため、大学生をサハリン州へ派遣し現地の学生と今後の交流の可能性について議論を行うなど、相互理解を推進する。	2,049
6	継続	「宗谷の歴史・文化」魅力発信による観光地域づくり推進事業	30 ~ 32	管内に潜在する歴史的遺産や文化に注目し、テーマ性やストーリー性を重視しながら道内外へ発信するとともに、地域住民に観光資源の歴史的な価値を再認識してもらい、地元を誇りを持った観光ガイド等を育成することを目的とした観光地域づくりを推進する。	1,356
7	新規	宗谷地域サイクルツーリズム推進事業	31 ~ 32	宗谷の特色ある自然・気候の優位性をPRしつつ、「自転車」に乗りながらゆっくりと宗谷を楽しんでもらえるような仕組みづくりを検討するとともに、知る人ぞ知るロケーションポイントを入れ込み、希少価値の高いモデルルートを設定する。	1,025
8	新規	宗谷地域若者就業支援事業	31 ~ 32	地域の産業や強みを活かし、良質な雇用環境の創造に向けて、セミナーの実施やイベントでのブースの出展、リゾートバイト情報のリーフレットを作成する。	1,221
9	新規	宗谷家畜防疫体制確立連携事業 ～安心した酪農生産のために～	31 ~ 32	家畜伝染病のまん延防止対策として、農業関係機関や建設会社など広域的な連携による実地演習を実施し、宗谷の気象や土壌条件等の課題の確認や対応の検討を行い、迅速かつ的確な防疫措置が講じられるよう防疫体制の更なる強化を図る。	1,294

番号	新規・継続	事業名	事業期間(年度)	事業概要	事業費
宗谷総合振興局				9	11,300
1	継続	オールオホーツク来訪振興促進事業	30 ~ 32	外国人観光客などへ、オホーツク地域が有する食や景観などの豊かな地域資源の情報を効果的に発信・拡散し、オホーツクイメージを醸成することにより来訪への動機付けとし、来訪人口の増加・消費により地域産業に活力をもたせ、観光消費を支えるための雇用や就労の機会を確保する。	2,182
2	継続	オホーツク・スポーツブランド化推進事業	30 ~ 32	2020年の東京オリ・パラの開催を控え、スポーツ合宿に係る機運醸成が高まっていることから、管内市町村と連携し、スポーツ合宿誘致に向けた情報提供を行う。	296
3	継続	知床自然遺産のインバウンド受入体制の底上げ事業	30 ~ 32	知床世界自然遺産は外国人旅行者が増加しており受入体制を充実していく必要があるため、情報提供の英語化対応を進めるとともに地域一体の共通認識を醸成する。	698
4	継続	オホーツク食のブランド戦略強化促進事業	30 ~ 32	オホーツク地域の食ブランド力を一層強化することにより、管内産品の高付加価値や販路の拡大を図る。また、オホーツク産農畜産物を使用した加工品の商品開発や販路拡大への取組により、生産から加工、販売までが一体となった地域をあげた6次産業化や海外への販路拡大など高付加価値化を推進する。	2,723
5	継続	オホーツク東部流域地域材活用見える化推進事業	30 ~ 32	道内屈指の林業地帯であるとともに木材の生産基地であるが、地元での地域材の活用を進め、さらなる地材地消の取組を推進するため、川上から川下に至る関係者が情報を共有する体制を整備し、スムーズな地域材活用スタイルを構築する。	112
6	継続	オホーツク型適正輪作確立事業	30 ~ 32	オホーツク型の適正輪作体系を確立し、畑作及び酪農・畜産の持続的発展と農家経営の安定向上を図る。	560
7	継続	オホーツクICT農業活用支援事業	30 ~ 32	GNSSガイダンスシステムやドローン等を用いたセンシング技術、搾乳ロボットや自動給餌機などICTを活用した農業用機械等の導入拡大と効果的な利活用を進めるため、研究・普及・行政・農業団体が一体となった推進体制を構築し、ICT農業の実態把握や導入効果の検証、農家への効果的普及を図る手法検討により、効果的な指導方法の確立を図る。	813
8	新規	オホーツクMaaS地域活性化推進事業	31 ~ 33	鉄道・バス・航空・タクシーなど各交通モードの活性化はもとより、各交通モード間が連続したシームレスな交通サービスの確立を推進するとともに、基幹交通から観光地や地域住民が集う場所への着地交通をよりシームレスにし、地域活性化を推進する。	1,381
9	新規	みてさわってつかって！オホーツク産木製品認知度向上事業	31 ~ 33	首都圏等における一般消費者向け各種イベントでのオホーツク産木製品の活用促進や、飲食店等へのオホーツク産木製品モニター使用等を実施する。	1,818
10	新規	オホーツク農業を未来に繋ぐ！「SyuNoh」推進事業	31 ~ 33	オホーツク農業の持続的発展には、新規就農者の安定的な確保が必要であり、特に、農村の集落機能やコミュニティの維持のためには、農外からの新規参入の拡大が必要なことから、新規参入者の受入拡大を図る取組を一体的に推進する。	1,444



番号	新規・継続	事業名	事業期間(年度)	事業概要	事業費
11	新規	オホーツク地域新規学卒者地元就労・定着促進事業	31 ~ 33	オホーツク地域の新規学卒者に対し、地元就労や職業観の醸成による離職防止を目的とした、地元企業による仕事内容の紹介を行う展示会等の事業を実施する。	2,273
オホーツク総合振興局				11	14,300
1	継続	バイオガス資源地域活用促進プロジェクト事業	27 ~ 32	エネルギーの地産地消など十勝のバイオガスに関する取組みへの定着・促進を図るとともに、「バイオガスプラント」においてエネルギー化する際に発生する「消化液」の畑作農地へ還元方法等について調査・検討を行う。	1,653
2	継続	とちかち地域産業振興事業	28 ~ 32	地域経済の活性化及び交流人口の増加のため、十勝産品及び観光資源の高級市場への売り込みのほか、インバウンド需要の取り込みや新たな地域資源の利活用などにより、地域で稼ぐ取組を重点的に推進する。	7,531
3	継続	とちかち自然の魅力アップ観光推進事業	29 ~ 32	日本百名山の1つである大雪山系「トムラウシ山」の山岳環境問題に取り組み、貴重な環境を保全し、魅力ある観光資源を提供することで、利用を促進し観光の振興を図る。	912
4	継続	楽々スマート農業活用事業	30 ~ 32	GPSを活用したトラクターの自動化やロボット技術の導入が普及しているが、地域差や個人差がある状況。管内農業は労働力が不足し、省力化技術や労働力の確保が急務なため、スマート農業を活用した省力化技術の普及及び農家の労働環境改善の知識向上を図る。	589
5	新規	共生社会の実現に向けた多様な人材活躍推進事業	31 ~ 32	年齢や障がいの有無等にかかわらず、安心、安全に暮らせる「共生社会」を実現するため、各分野で活躍する人材を育成し、高齢者や障がいのある方々に十勝への愛着と誇りを持っていただく。また、「子ども食堂」を通じて地域における子どもの居場所を提供し、様々な子どもたちに食事や団らんを提供する。	2,515
十勝総合振興局				5	13,200
1	継続	輝ける北の大地で羽ばたく根釧酪農チャレンジ事業	27 ~ 31	根釧市町村・農協関係者が根釧酪農・地域の持続的発展に向け、「根釧酪農ビジョン」の方向性に即し、関係者と連携しながら、「草地型酪農の推進」、「担い手の育成確保」及び「高付加価値化の推進」に資する取組を推進し、酪農生産基盤を強化や、人口減少社会に対応した地域経済社会の維持・拡大を図る。	2,362
2	継続	道東くしろ誘客促進事業	28 ~ 31	人口減少下の「くしろ」の持続的発展に向け、交流人口の拡大及び移住・定住による人口増につなげるため、地域が連携して三大都市圏などの都市部の現役世代等に地域の魅力発信の強化を図るとともに、受入体制の整備を進める。	1,997
3	継続	スポーツを通じた地域の魅力創出事業	30 ~ 32	「くしろ」の夏期の冷涼な気候などの地域特性を活かし、スポーツ合宿の誘致による誘客を促進するため、官民連携により誘致活動を強化し、スポーツを通じた地域の新たな魅力を創出するなど、地域の活性化に向けた取組を進める。	3,106

番号	新規・継続	事業名	事業期間(年度)	事業概要	事業費
4	新規	くしろ地域の新価値創造ネットワーク構築・推進事業	31 ~ 33	観光入込客の増加や長期滞在の堅調な伸びなど、経済面での効果が出ている一方、若年層の流出、構造的な社会減への対策が喫緊の課題のため、地域の新たな価値の創造や地域で活躍する人材の育成・発掘を、パッケージで支援する仕組みを構築し、くしろ型の地域創生の推進する。	3,635
釧路総合振興局				4	11,100
1	継続	少子・高齢社会における子育て支援事業	27 ~ 31	地域の中で住民参加により子育てをサポートする環境づくりを目指し、地域全体で子育てを支える意識の醸成を図り、多世帯・多世代間の結びつきを深めながら地域住民がボランティアとして子育てに参加し、住んでいる地域の中で子育てをしやすい環境・安心して子育てできる環境を整備する。	319
2	継続	根室地域医療従事者確保事業	27 ~ 31	根室地域として、医師、薬剤師、看護師及び准看護師の確保対策を行うこととし、関係機関の連携により、根室地域の居住に関心を向けるために、地域の受入れ体制を構築する。	148
3	継続	輝ける北の大地で羽ばたく根釧酪農チャレンジ事業	27 ~ 31	農業の国際交渉の進展や離農・農業従事者の高齢化、飼料価格の高止まりなど様々な課題を抱える中で、市町村やJA、企業等が連携し、「根釧酪農ビジョン」に掲げる根釧酪農や地域の将来像の実現に向けて、地域の強みを活かした取組を行う。	922
4	継続	ねむろ食の商品力強化事業	27 ~ 31	生産商品の付加価値を向上のため、根室の良質な食資源を、作り手の思いが伝わるよう商品力を強化し、根室地域の食のブランド力を高め、さらなる販路拡大・強化を図る。また、官民一体となった地域の取組を推進するために、消費者向けのイベントへの参加や販路拡大のための商談会等の支援を行う。	445
5	継続	ねむろ観光交流推進事業	27 ~ 31	観光面における根室地域外からの交流人口の増加を図るため、地域の特性・資源を活かし、体験型観光に携わる管内民間団体等が連携した取組への支援や、道東4振興局が連携した戦略的な個人旅行の誘致により、豊かな自然環境、地域の産業・文化などと調和した観光の確立及び地域の優位性を活かした観光地づくり推進する。	441
6	継続	移住交流の促進に向けたねむろの魅力発信事業	27 ~ 31	移住希望者への働きかけを行うとともに、「ねむろ地域の魅力」をPRするため、ブログポータルサイト等を活用した継続的な情報発信を行うほか、地域おこし協力隊員を中心に管内移住者のネットワークを形成し、移住促進に向けた意識醸成を図る。	378
7	継続	根室水産物ブランド化推進事業	29 ~ 31	ロシア水域でのさけ・ます流し網漁業の禁止により、代替漁業で漁獲されるサバ類・マイワシや、加工原料をサケ・マスから国産原料へ転換したことに伴う新商品などのPRを行い、根室地域水産物のブランド化を推進し、代替漁業の自立と地域で循環する関連産業の確立を図る。	1,882
8	継続	北方領土モノがたり事業	30 ~ 32	北方領土問題の発生から70年以上の年月が経過しており、北方領土返還要求運動の機運醸成を図るため、北方領土問題に「触れる」・「学ぶ」・「知る」の3本を軸に普及啓発及び隣接地域の振興対策を促進する。	1,371

番号	新規・継続	事業名	事業期間(年度)	事業概要	事業費
9	継続	根室地域産エゾシカ肉の有効活用促進事業	30 ~ 32	一定の要件をクリアしたエゾシカ肉を安心安全な地域ブランド肉として管内流通させるとともに、共通メニューの考案、登録参加店や学校給食での提供を通じ、エゾシカ肉の活用を促進する。また、郷土食としての定着化、根室管内への観光入込客数等の増加を図る。	807
10	新規	風蓮湖ヨシワラ再生実証試験事業	31 ~ 33	漁場環境の悪化に伴い漁獲量が著しく減少した「風蓮湖のシジミ」の資源回復を図るための、ムニウス、ヨシワラ再生に向けた実証試験を実施し、漁場の環境改善により、地域漁業の振興を図る。	1,440
11	新規	地域とヒトを繋ぐシェアムレス交通活性化事業	31 ~ 33	交通モード間の連携によるスムーズな乗り継ぎや利用者のニーズにあった最適な運行ダイヤの編成といった公共交通の利便性向上を図るとともに、自治体や関係団体等の地域が一体となって、根室管内、管外からの観光客が行きたい場所にスムーズに行ける、利便性が高くストレスのない持続的な移動環境を実現する。	885
12	新規	根室地域の防災対策の課題解決事業	31 ~ 32	根室地域も巨大地震の発生確率が高くなっており、各市町においても災害に対する取組を強化しているが、業務継続計画の策定、非常用電源の設置、燃料の備蓄などさらに取組を強化が必要なところもあり、災害に強い役場づくりの構築に向けた取組を支援する。	1,062
根室振興局				12	10,100
計				109事業(新規19事業、継続90事業)	171,800